



祝・合格おめでとう！

桜の便りが各地から届く今日この頃、松進の受験生と御家族にも春が来ました。

小学生の中学受験で難関校の海陽学園海陽中等教育学校、諏訪清陵高等学校附属中学校、駿台甲府中学校、佐久長聖中学校に合格。

高校受験で松本深志高校、伊那北高校、諏訪清陵高校をはじめ公立高校に受験生全員が合格！

大学受験で国立大学は金沢大学、信州大学などに、公立大学は長野県立大学、山梨県立大学など、私立大学で同志社大学、立命館大学、中央大学などに合格を果たしました。

いろいろな悩みこの一年を過ごして来たと思います。

この経験はこれからの人生で役に立つはず。がんばって！

高校合格のお祝い♪

がんばったみんなを祝いたい！高校受験が終わった学生と松進の先生たちで合格祝賀会を行いました。

先生たちのマジックやダンスなど多彩な芸にみんなビックリ！

家族と楽しく見ている姿もあり、笑顔あふれる祝賀会になりました。

夢いっぱい的高校生活ですが、高校受験は通過点にしすぎません。合格で浮かれることなく、しっかりと勉強をこつこつと。



**公立高校
全員合格！**

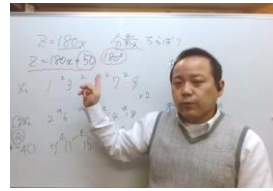
共通テストはこう解く

高校生対象の「共通テスト対策講座」を行いました。

「思考力」「判断力」「表現力」が問われる共通テストですが、これらの力は短期間で作れるものではありません。

共通テスト対策は早ければ早いほど有利です。

受講した学生たちの感想です。



○勉強方法や大学受験に向けた説明を聞くことができてとてもためになった。実際に問題を解き、解説などを教えていただいたことで理解が出来たのでとてもありがたかった。(Aさん)

○とても参考になって良かった。問題をZOOMで配信していたのが面白くてよかった。自分で解くのはもちろんだけど、デジタルの小テストみたいな感覚がいいなと思ったのでまたやってもらいたい。(Bさん)

○数学は自分が間違えて覚えていたところを直せてよかったし、リスニングとか現代文のやり方もわかったからよかった。(Cさん)

オンラインセミナー実施

新中学3年生とその保護者を対象に「高校入試制度説明会」、高校1・2・3年生を対象に「大学入試制度説明会」を実施しました。

「思考力」「判断力」「表現力」が必

要な問題が多くなり簡単に点を取れなくなってきましたが、私たちが指導している事をきちんと実行すれば点を取れます。

塾生や保護者からいただいた感想の一部をご紹介します。

「高校入試制度説明会」

○今回子供と一緒に聞くことで受験生なんだなという自覚が生まれた。この時期にこのようなお話を聞いて良かったと感じています。勉強の方法や日々の積み重ねが大事なんだと改めて感じました。ありがとうございました。(Iさん)

○併願や検定について勉強になりました。検定を受けると決心しようです。子どもは勉強方法について気持ちを新たに頑張ろうと言っています。ありがとうございました。(Kさん)

○評定など前期選抜について詳しく知ることができ、とても参考になりました。後期選抜のテストの要点など分かっているようで分かたないことばかりでこれからのテストにも活かせればと感じました。早めに受験に向きあい、さらに頑張らないかという気持ちの子供にも親にも芽生えた説明会でした。貴重な時間をありがとうございました。(Tさん)

「大学入試制度説明会」

○大学によって入試制度が変わる事がわかった。自分の将来から逆算し、絞って考えることが大切だと思った。準備に早すぎることは無いので、早めから考えたいと思

(Sさん)

○新しくなった大学入試制度がまだよくわかっていなかったが、わかりやすく説明していただいたとても参考になった。取った方がいい資格などもちゃんと教えてくれたり過去の先輩の勉強を紹介してくれたりとても役に立った。(Nさん)

(Nさん)

○ずっと前から入試入試って色々な人に言われるわりには情報が少なすぎて途方に暮れていたのですが、ピンポイントでこれとこれは何が違っていて教えてくれたのがほんとに助かりました。最近の傾向とか学校の先生が教えてくれないようなことまで広く教えてくださいました。(Yさん)

(Yさん)

みなさん、お読みください

今日は学力と深い関係がある家庭学習について話してみたいと思います。

テストには色々な問題が出題されます。私たちは子どもがそれらの問題を解けるようにするため、基礎知識を教えて解説をし、それを習得するための学習法も教えています。そして教えたことを定着させるために家庭(図書館など)での学習が重要なことを授業で、あるいは面接で親子に話を何度もしています。なぜなら授業を受けただけでは学力を伸ばすことができないからです。

野球の大谷選手はどうでしょう。バスケの八村選手はどうでしょうか。監督やコーチに教わっただけで、あのような力を自分のものにしたのでしょうか。



何も練習をしないで努力もしないで一流になったのでしょうか。もっとうまくやりたいと悩み、スランプになれば苦しみ、そこから脱出するために必要なことをすべて実行しているから一流でいられるのではないのでしょうか。

学生の多くが部活、スマホ、遊び、やる気などが影響してテストで点が取れないと悩みます。そこで私たちは、その悩みに対して「こつこつたらどうか」と具体的な提案し、御家庭にも理解を求めます。



そして子どもの様子を観察するのですが、実行が続かない子もいれば、私たちが教えたことを受け入れて頑張る子もいます。私たちは実行していない子どもを見捨てることは絶対にしません。どの子も能力に大きな差はなく、家庭学習さえ増やせば、どの子も良くなっていくことを知っているからです。

理解が遅いか頭の回転が速くないのに、90点を取っている子がいます。その子たちは、どうして点を取れるのでしょうか。それは私たちの話に耳を傾け、我慢をし、工夫をし、努力を続けたからそのようになったのです。



しかしそこに親の努力と温かいサポートがあったことは言うまでもありません。子どもを育てるのが親や学校や私たちの役目ではないでしょうか。

努力は子どもばかりに求めるものではありません。我慢と工夫は親にも私たちにも求められている事を忘れてはなりません。

塾長より